

分野	専門分野	科目名	基礎看護技術Ⅲ
時間	45時間	開講時期	1年次（後期）
講師名	専任教員		
科目目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 感染成立の条件および院内感染防止の基本を知り感染防止が理解できる。 2. 医療における安全確保の技術を理解できる。 3. 創傷とその治癒のメカニズムを知り、治癒のための環境、創保護の実際について理解できる。 4. 薬物の取り扱い、吸入、点眼、点鼻、経皮的貼付薬、皮内・皮下・静脈内・筋肉内注射・点滴静脈内注射を受ける対象への援助方法を理解できる。 5. 救急対応の考え方、急変時における初期対応の流れ、院内急変時の対応を理解できる。 6. 生体管理のため、安全安楽に介助技術を実践するモニターや診察・検査・処置等必要な知識と技術を理解できる。 7. 診察・検査・処置を受ける患者の看護を理解できる。 8. 死にゆく人と家族の心理、死亡による身体の変化を理解し、死後の処置の実際を理解できる。 		
講義形態	①講義・演習		
実務経験教員による授業の概要	看護師の実務経験を持つ教員が、看護技術の基礎と患者に応じた援助について講義及び演習、技術チェックを行う。		
講義内容			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 感染防止の技術 2. 安全確保の技術 3. 創傷管理技術 4. 与薬の技術 5. 救命救急処置技術 6. 症状・生体機能管理技術 7. 診察・検査・処置における技術 8. 死の看取りの援助 			
【テキスト／参考文献】			
<p>医学書院 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[3]基礎看護技術Ⅱ サイオ出版 新訂版 看護技術ベーシックス第2版</p>			
【評価】			
<p>学科試験 筆記；100点をもって満点、60点をもって合格とし、60点未満を不合格とする ※技術チェックの合格は履修の必須条件とする</p>			